

看護部

ER

病院の理念の元、受診希望患者は断らず、1次救急から3次救急まで、全ての救急車を受け入れています。

救急車は1日平均40台で、年間では約13,000台を受け入れています。

救急総合診療科では、救急車やヘリコプターで搬送されてくる患者の他に、外来に来院される患者にも対応しています。当院では、緊急度の高い患者を優先的に診察するために、JTAS「緊急度判定システム」を使用し、すべての患者に対して看護師がトリアージを行なっています。このことにより、緊急性かつ重症度の高い方を見落とすことなく、待ち時間の状態悪化を防ぐことを目的としています。

ERには、小児でも成人でも、どのような科でもさまざまな患者が来院されます。緊急に発症した疾患や事故により、不安を抱えた患者や家族に対して医師・看護師・救急救命士・看護助手・事務のチームで対応するとともに、さらに専門性を高めて地域の方々に満足して頂けるように日々のスキルアップに努めています。

【業績】

1. 藤田大樹：神経系アンダートリアージ症例の介入前後における比較検討について。日本臨床救急医学会 学術集会，富山，2015，6.
2. 奈良唯唯子：トリアージナーズの救急看護経験年数の分類からアンダー・オーバートリアージ率の比較と今後の課題。日本臨床救急医学会，富山，2015，6.